

武漢コロナウィルス、その後

緊急事態宣言の延長が決まりました。沖縄県は観光立県として成り立っていましたので、今回の武漢コロナウィルスによって大打撃を受けています。

観光産業に関わる業種、航空、ホテルなどの旅行業、自動車産業、飲食業など、6月からは倒産する会社が増え、株価が下落、物価も値引きで下落して行く大不況の波が押し寄せてくると言われていています。(今回は作家の本田 健さんのコメントを参考にしました。)

また今年の冬には第2波が来る予測もあり、3密を避ける継続は必須でしょう。従ってこれからのビジネスはソーシャル・ディスタンスを守った形態に変化しそうです。

以前のように居酒屋での混雑、大群衆でのスポーツ観戦やコンサートなどできなくなり、新たな形態の楽しみ方が生まれると思います。

3~4人で利益を得る空間の仕事やレストラン、美容室、美術館、商談などは2メートルの間隔を保てる状態の空間が必要です。

今回、人の移動が制限されたために世界中で今までになかった自然現象がみられるようになりました。イタリアの運河に魚が戻ってきたとか、湖にフラミンゴの群れが戻ってきたとか、汚染された自然が回復している兆しです。

都市に集中してきた都市文明の終わりを迎え、無駄な貿易や新しいファッションなど資本主義の無駄を知るようになるということです。キーワードは3密、在宅、オンラインです。

大失業時代に個人にできることは、まず

①家庭を守ること、家族とのコミュニケーションの改善、身内の人ほど感謝と気遣いなど、②お金を確保する、ブランド物、高級品、不動産などがあれば早めに売って現金化し、超節約すること、③今の仕事をできるだけ確保しておく、または副業を探すことです。

住み家も都市から離れて自然を楽しみながらできるオンラインでの仕事も増えるでしょう。

そのためにはフリーランスや手に職を持つなど自分で稼げること、つまり自分が持っている何か価値(資格)を提供できる状態にしておかないとかなり厳しくなるでしょう。

さて、お金や仕事のことによって不安がある中、人間は孤独感を感じて恐怖感が生まれてきます。リーマンショックの時も「うつ状態」になり多数の自殺者が出たということです。

その処方箋は、人間は集団で生きる者なので周りとの繋がりを持つことです。誰でもいいから話をすること、オンライン飲み会など良いでしょうね。とに角しゃべることです。

今や「人生の中間決算の時期」と本田さんは言っています。ピンチをチャンスに変えていきましょう。(たまなは)

の
新
型
コ
ロ
ナ
ウ
ィ
ル
ス
の
感
染
拡
大
に
伴
う
各
国
の
新
型
コ
ロ
ナ
ウ
ィ
ル
ス
の
感
染
拡
大
に
伴
う
各
国

	米国	•最大約13万円(1200ドル)を現金給付として大人1人に支払い •隔離された感染者の病欠期間のうち最大14日間を有給に(ニューヨーク州)
	フランス	•一時帰休制度で給与の84%を原則保証 •約18万円(1500ユーロ)を小規模自営業者らに支給
	イタリア	•約7万円(600ユーロ)を観光業や自営業者に支援 •正規労働者の給与を最大80%まで肩代わり
	ベルギー	•最大約60万円(5000ユーロ)を飲食店などに一時金として支払い •従業員に給与の70%を支給
	ニュージーランド(NZ)	•約45万円(約7030NZドル)を1人あたりの12週間分の賃金として企業を通じて支払い •住宅ローンの返済を6カ月猶予